

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療倫理学	1.5	カリキュラム・マップ	c	c	c	c	D	C	E	E	E	E	E	E	E	D	E	D	D	D	E	E	E	E	E	D	D	C	E	E	E	C
		アセスメント・マップ																														
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																														
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)																														
		評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	90	a	a	a	b	c	a																							
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）																														
		3 小テスト：筆記試験（記述式）																														
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																														
		5 口頭試験																														
		6 レポート																														
		7 成果発表																														
		8 質問紙法																														
		9 直接観察法（模倣型または実際の患者）																														
10 OSCE																																
11 監査（オーディット）																																
12 ポートフォリオ																																
13 自己評価																																
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																															
合計（100%）	100																															
目標とする平均点	75点																															
再試験の回数	1回																															
授業形態	対面授業科目																															

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																															
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けることができる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を傾聴して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。						

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法						
法学	1	カリキュラム・マップ						
		アセスメント・マップ						
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)						
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)						
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	20	b				
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	80	a	c	b	a	b
		3 小テスト(筆記試験(記述式))						
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))						
		5 口頭試験						
		6 レポート						
		7 成果発表						
		8 質問紙法						
		9 直接観察法(模型または実際の患者)						
		10 OSCE						
11 監査(オーディット)								
12 ポートフォリオ								
13 自己評価								
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載								
合計(100%)	100							
目標とする平均点		75点						
再試験の回数		2回						
授業形態		対面授業科目						

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決を説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の立場を配慮して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	3国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	4国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
人間学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	100
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	
合計（100%）	100	
目標とする平均点	80点	
再試験の回数	0回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、結果を評価できる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学的知見を新機軸に含められていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会における健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	国際交流に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
凡例	高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである						A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる						B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している						C 医学士として基礎となる能力を修得している						D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない						E 経験・修得する機会がない																	
	応用 Applied	S						A						B						C						D						E																	
科目名	単位数	学修成果と評価方法																																															
数学	2	カリキュラム・マップ																																															
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																															
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)																																															
		評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6					
		1	定期試験：筆記試験（記述式）	90																																													
		2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）																																														
		3	小テスト：筆記試験（記述式）	10																																													
		4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																														
		5	口頭試験																																														
6	レポート																																																
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
合計（100%）		100																																															
目標とする平均点			80点																																														
再試験の回数			1回																																														
授業形態			対面授業科目																																														

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学士として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
数学	2	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	90
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	10
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
		5 口頭試験	
6 レポート			
7 成果発表			
8 質問紙法			
9 直接観察法（模型または実際の患者）			
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		
目標とする平均点	80点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に聞き、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5												
																																1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
I. プロフェッショナリズム																																											
II. 医学知識																																											
III. 医療の実践																																											
IV. 問題対応能力																																											
V. コミュニケーション																																											
VI. 科学的探求																																											
VII. 地域医療																																											
VIII. 国際貢献																																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えるべき倫理に及ぶ患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病態・病機・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴の聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することが出来る。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析して実行できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決を説明できる。	6 問題解決を説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることが出来る。	3 医療チームのメンバーとして多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し導き及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 他人の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の視点を顧みることが出来る。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																											
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
定期試験(筆記試験)	45																																										
定期試験(筆記試験)																																											
小テスト(筆記試験)	10																																										
小テスト(筆記試験)																																											
口頭試験																																											
レポート	45																																										
成果発表																																											
質問紙法																																											
直接観察法(模倣型または実際の患者)																																											
OSCE																																											
監査(オーディット)																																											
ポートフォリオ																																											
自己評価																																											
その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																											
合計(100%)	100																																										
目標とする平均点	80点																																										
再試験の回数	1回																																										
授業形態	対面授業科目																																										

科目名	単位数	学修成果と評価方法
応用統計学	1.5	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ ① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

基礎医学物理	1.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験(筆記試験(記述式))	100	
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))		
3 小テスト(筆記試験(記述式))		
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法(模型または実際の患者)		
10 OSCE		
11 監査(オーディット)		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計(100%)	100	
目標とする平均点		80点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献	
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を説明するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	医学的知見を説明するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。
D	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	D	C	C	C	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分
高度 Advanced S
応用 Applied A
基礎 Basic B, C, D, E

科目名 単位数
放射線物理学 1

Table with columns for competencies (I-VIII) and rows for evaluation items (1-14). It details the application of various competencies across different curriculum levels.

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

Main evaluation matrix table with columns for evaluation forms (1-14) and rows for competency levels (a, b, c) across various evaluation categories.

Summary table with rows for '合計 (100%)', '目標とする平均点' (80点), '再試験の回数' (1回), and '授業形態' (対面授業科目).

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

生命科学

2 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合(%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合	コンピテンシ・コンピテンシー																																																		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																				
1 定期試験：筆記試験(記述式)	50							a	c	c								a	b	b	c						c	c	c	c	b																					
2 定期試験：筆記試験(多岐選択式)	30							a	c	c								c																																		
3 小テスト：筆記試験(記述式)	5										b	c	c					a	b	b	c						c	c	c	c	b																					
4 小テスト：筆記試験(多岐選択式)	15										b	c	c					c																																		
5 口頭試験																																																				
6 レポート																																																				
7 成果発表																																																				
8 質問紙法																																																				
9 直接観察法(模型または実際の患者)																																																				
10 OSCE																																																				
11 監査(オーディット)																																																				
12 ポートフォリオ																																																				
13 自己評価																																																				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																				
合計(100%)	100																																																			

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																									
I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医学倫理規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に着けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決を説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に対する配慮を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5 関心の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な視点に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 准学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学英語1	2	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																								
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																								
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																								
評価形式	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
定期試験：筆記試験（記述式）	25																																							
定期試験：筆記試験（多肢選択式）																																								
小テスト：筆記試験（記述式）																																								
小テスト：筆記試験（多肢選択式）	25																																							
口頭試験																																								
レポート	25																																							
成果発表																																								
質問紙法																																								
直接観察法（模写または実際の患者）																																								
OSCE																																								
監音（オーディット）																																								
ポートフォリオ																																								
自己評価																																								
その他 評価形式が「その他」の場合、 内容を記載（出席）	25																																							
合計（100%）	100																																							

全科目チェック集計用		
a	b	c
+	=	++
0	0	5
0	0	0
0	0	0
0	0	5
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	0
0	0	5

目標とする平均点	
再試験の回数	
授業形態	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

英会話	2	カリキュラム・マップ
-----	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表		60													
8 質問紙法															
9 直接観察法（模型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														40 (授業態度)	
合計 (100%)		100													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																														
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	3	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	3	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	3	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	科学的探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることとそれを説明できる。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	3	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に活用できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	4	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	4	疾病の病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	4	科学的探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることとそれを説明できる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	4	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4	疾病の病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	4	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5	疾病の病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	5	科学的探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることとそれを説明できる。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5	疾病の病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	5	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分
高度 Advanced S
応用 Applied A
基礎 Basic B, C
D
E

Table with 50 columns representing competencies and 5 rows representing assessment levels (1-5). Categories include Professionalism, Medical Knowledge, Clinical Practice, Problem Solving, Communication, Scientific Inquiry, Regional Medicine, and International Contribution.

Table with columns for '科目名' (Subject Name) and '単位数' (Credit Hours). Includes 'ドイツ語' (German) and '学修成果と評価方法' (Learning Outcomes and Evaluation Methods).

Assessment Matrix table. Includes 'カリキュラム・マップ', 'アセスメント・マップ', '① 評価形式ごとの評価割合 (%)', '② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)', and a grid for evaluation forms (1-14) with a total row and average score information.

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

フランス語	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	80
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
3	小テスト：筆記試験（記述式）	
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法（模型または実際の患者）	
10	OSCE	
11	監査（オーディット）	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20 (授業態度)
	合計（100%）	100
	目標とする平均点	75点
	再試験の回数	1回
	授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																																																																					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																																				
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着ける。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	6	疾病の病態・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床推論に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4	医療安全、感染症対策を実践できる。	5	災害時の医療について説明できる。	1	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析でき、抽出できる。	2	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決と課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	科学的知見を導くための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

中国語	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	60	
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 テスト：筆記試験（記述式）	10	
4 テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表	20	
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 (授業態度、出席)	
合計 (100%)	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																					
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3	地域における医療専門職の役割を理解し、協働して医療を実践することができる。	4	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	1	疫学、疾病予防、福祉、医療活動に活用できる。	2	疫学、疾病予防、福祉、医療活動に活用できる。	3	疫学、疾病予防、福祉、医療活動に活用できる。	4	疫学、疾病予防、福祉、医療活動に活用できる。	5	疫学、疾病予防、福祉、医療活動に活用できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
先陣医学セミナー	2.5	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
アセスメント・マップ																																														
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																														
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																														
評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
1 定期試験(筆記試験(記述式))																																														
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))																																														
3 小テスト(筆記試験(記述式))																																														
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																														
5 口頭試験																																														
6 レポート	100																																													
7 成果発表																																														
8 質問紙法																																														
9 直接観察法(模型または実際の患者)																																														
10 OSCE																																														
11 監査(オーディット)																																														
12 ポートフォリオ																																														
13 自己評価																																														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、 内容を記載																																														
合計(100%)	100																																													
目標とする平均点	75点																																													
再試験の回数	1回																																													
授業形態	対面授業科目																																													

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
初年次 セミナー	1.5	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	50
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ	30		
13 自己評価	20		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		
目標とする平均点	80点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5											
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けることができる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	1抽出できる。	2抽出できる。	3抽出できる。	4抽出できる。	5抽出できる。	1問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決を説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進に努めることができる。	3指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の価値観を尊重して接することができる。	5先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2科学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を身につけている。	5医学的知見を説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	3地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論1	0.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えている影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができ。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の動向に関する情報を収集し、国際的な視野に立つて実践する基礎を築く。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	75	a	a	b	c	b	c							
7 成果発表	15	a	b	b	c	b	c							
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														a
合計（100%）	100													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	0回 再評価の機会は設ける
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

地域医療合同 セミナー1	1	カリキュラム・マップ
-----------------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し合い及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者の立場及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学的知見を新機軸に含められていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ	c	d	d	c	d	c	e	e	e	d	d	d	e	d	d	d	d	e	d	b	c	b	d	c	d	e	e	e	e	c	d	d	c	d	d	d	e	e	d
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)	
1 定期試験(筆記試験(記述式))																
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))																
3 小テスト(筆記試験(記述式))																
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																
5 口頭試験																
6 レポート	60	a					c									
7 成果発表	20	a					c									
8 質問紙法																
9 直接観察法(模型または実際の患者)																
10 OSCE																
11 監査(オーディット)																
12 ポートフォリオ																
13 自己評価																
14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)	20	b					c									
合計 (100%)	100															

目標とする平均点	85点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チュードントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医療行動科学1	1.5	カリキュラム・マップ

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践			IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求			VII. 地域医療			VIII. 国際貢献															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えている影響及び患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を配慮して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際活動に関与し、国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ		②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																												
評価形式	割合 (%)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																														
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）																														
3 小テスト：筆記試験（記述式）																														
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																														
5 口頭試験																														
6 レポート	90															a	b	b	b	a										
7 成果発表																														
8 質問紙法																														
9 直接観察法（模型または実際の患者）																														
10 OSCE																														
11 監査（オーディット）																														
12 ポートフォリオ																														
13 自己評価																														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10(受講態度等)																													
合計 (100%)	100																													
目標とする平均点	80点																													
再試験の回数	1回																													
授業形態	対面授業科目																													

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法		
死生学	1	カリキュラム・マップ		
		アセスメント・マップ		
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)		
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	100	a a b a
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))		
		3 小テスト(筆記試験(記述式))		
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))		
		5 口頭試験		
		6 レポート		
		7 成果発表		
		8 質問紙法		
		9 直接観察法(模型または実際の患者)		
		10 OSCE		
11 監査(オーディット)				
12 ポートフォリオ				
13 自己評価				
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載				
合計(100%)	100			
目標とする平均点	75点			
再試験の回数	1回			
授業形態	対面授業科目			

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	5病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	6災害時の医療について説明できる。	1抽出できる。	2抽出できる。	3抽出できる。	4抽出できる。	5抽出できる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	3先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	3先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。			

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
発生物学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	70
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	30
		3 小テスト(筆記試験(記述式))	
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法(模型または実際の患者)	
		10 OSCE	
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計(100%)	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6												
D	D	D	D	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	E	D	C	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	D	D	C	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E						
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																																			
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)																																																			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
						a	a	a	a																					a																							

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
分子生物学1	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	40
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	60
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
		10 OSCE	
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計（100%）	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に活用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難く及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に活用できる。	疾病の病態・病機・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴の聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意を忖度して接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	グローバル・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療活動への参加を説明できる。	3 国際的な医療活動の発展に貢献する役割を説明できる。	4 国際的な医療活動の発展に貢献する役割を説明できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。								
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分		
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして権限的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

1	I. プロフェSSIONALISM					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p style="text-align: center;">アセスメント・マップ</p> <p>① 評価形式ごとの評価割合 (%)</p> <p style="text-align: center;">② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)</p> <table border="1"> <tr> <th>評価形式</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th> <th>15</th><th>16</th><th>17</th><th>18</th><th>19</th><th>20</th><th>21</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th><th>25</th><th>26</th><th>27</th><th>28</th><th>29</th><th>30</th><th>31</th><th>32</th><th>33</th> </tr> <tr> <td>1 定期試験(筆記試験(記述式))</td> <td>75</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))</td> <td>25</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3 テスト(筆記試験(記述式))</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4 テスト(筆記試験(多岐選択式))</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法(模型または実際の患者)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>11 監査(オーディット)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>合計(100%)</td> <td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>																																	評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	1 定期試験(筆記試験(記述式))	75																																				2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	25																																				3 テスト(筆記試験(記述式))																																					4 テスト(筆記試験(多岐選択式))																																					5 口頭試験																																					6 レポート																																					7 成果発表																																					8 質問紙法																																					9 直接観察法(模型または実際の患者)																																					10 OSCE																																					11 監査(オーディット)																																					12 ポートフォリオ																																					13 自己評価																																					14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)																																					合計(100%)	100																																			
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1 定期試験(筆記試験(記述式))	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3 テスト(筆記試験(記述式))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4 テスト(筆記試験(多岐選択式))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
6 レポート																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
9 直接観察法(模型または実際の患者)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
11 監査(オーディット)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
12 ポートフォリオ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
合計(100%)	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
目標とする平均点	75点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
再試験の回数	1回																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
授業形態	対面授業科目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

科目名	単位数	学修成果と評価方法
免疫学	2	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

免疫学実習	0.5	カリキュラム・マップ
-------	-----	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病態・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決及び課題探究能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人に敬意を払って接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3地域医療の発展に貢献する役割を説明できる。	4健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	5国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	2地域における医療専門職の役割を理解し、協働して医療を実践することができる。	3ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	5疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）															
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）															
3 小テスト：筆記試験（記述式）															
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）															
5 口頭試験															
6 レポート	80														
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法（模型または実際の患者）															
10 OSCE															
11 監査（オーディット）															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20														
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
社会医学入門	1	カリキュラム・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	100	a a a a a a a a a a a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載（出席）		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		80点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に善く接し、患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重し、接することができる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	地域の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	地域社会における地域医療の位置付けについて説明できる。	社会経済における地域医療の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
専門職キャリア形成論	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5														
E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E														
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																																									
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14																																													
	定期試験：筆記試験（記述式）																																																										
	定期試験：筆記試験（多岐選択式）																																																										
	小テスト：筆記試験（記述式）																																																										
	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																																										
	口頭試験																																																										
	レポート	100																																																									
	成果発表																																																										
	質問紙法																																																										
	直接観察法（模型または実際の患者）																																																										
	OSCE																																																										
	監査（オーディット）																																																										
	ポートフォリオ																																																										
	自己評価																																																										
	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載（出席）																																																										
	合計（100%）	100																																																									
目標とする平均点		85点																																																									
再試験の回数		1回																																																									
授業形態		対面授業科目																																																									

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医学英語2	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）	30	
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	25	
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	45 (授業態度)	
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えている影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析することができる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者との協力を図ることができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 確かな能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力への役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。				

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論2	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	70	a b c c c c
7 成果発表	10	a b c c c c
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	20	a b c c c c
合計（100%）	100	
目標とする平均点		80点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人に害及を及ぼす行為を避け、患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を考慮して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し、医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な視点に立つて実践する基礎的知識を身に付けていく。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																												
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探究					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と責任を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である解決を説明できる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				

カリキュラム・マップ 区分		学修成果と評価方法	
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである	試験・修得する機会はない
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、ステューデントドクターとして積極的に関与、行動できる	試験・修得する機会はない
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している	試験・修得する機会はない
	C	医学生として基礎となる能力を修得している	試験・修得する機会はない
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない	試験・修得する機会はない
	E	経験・修得する機会がない	試験・修得する機会はない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医学英語2	0.5	カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ		
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)		
評価形式		
1 定期試験(筆記試験(記述式))	30	c
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))		
3 小テスト(筆記試験(記述式))		
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	25	c
5 口頭試験		c
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法(模型または実際の患者)		
10 OSCE		
11 監査(オーディット)		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	45 (授業態度)	c
合計(100%)	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
肉眼解剖学実習	3	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	20
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
		5 口頭試験	70
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10 実習態度		
合計（100%）	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害及を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4病歴に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を傾聴して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の動向に関する情報を収集し、実践する基礎となる。	3国際的な保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分			I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献																				
高度 Advanced	S	初期臨床研修終了のレベルである	1 医療倫理に関する	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	1 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	1 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。																				
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして積極的に関与、行動できる	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	2 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的																				
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している	3 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	3 指導力及び協調性をもった診療や保健指導の基礎を実践でき	3 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	3 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。																				
	C	医学生として基礎となる能力を修得している	4 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	4 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	4 地域医療の中での国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的																				
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	5 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。																				
	E	経験・修得する機会がない	6 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる。	6 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	6 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	6 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	6 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	6 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	6 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	6 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的																				
科目名	単位数	学修成果と評価方法	D	E	D	E	E	D	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E									
	3	カリキュラム・マップ																												
評価形式	① 評価形式ごとの評価割合 (%)			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																										
	1	定期試験：筆記試験 (記述式)	30																			a	b	a	b					
	2	定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	60																							a	b	a	b	
	3	小テスト：筆記試験 (記述式)																												
	4	小テスト：筆記試験 (多肢選択式)																												
	5	口頭試験																												
	6	レポート																												
	7	成果発表																												
	8	質問紙法																												
	9	直接観察法 (模型または実際の患者)																												
	10	OSCE																												
	11	監査 (オーディット)																												
	12	ポートフォリオ																												
	13	自己評価																												
14	その他 特別講義課題などを加味した総合的 判断とする	10																									b	b	a	b
合計 (100%)			100																											
目標とする平均点			70点																											
再試験の回数			1回																											
授業形態			対面授業科目																											

カリキュラム・マップ 区分		札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー																																																
		Ⅰ. プロフェッショナリズム					Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献													
高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである	2 法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に着ける。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決を説明する能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームのメンバーとして多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	3 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の敬意を払って接することができる。	5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2 科学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。							
凡例	高度 Advanced	S																																																
	応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして規範的に関与、行動できる																																															
	基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している																																															
		C	医学生として基礎となる能力を修得している																																															
		D	試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない																																															
		E	試験・修得する機会がない																																															
科目名	単位数	学修成果と評価方法																																																
組織学・総実習	2.5	カリキュラム・マップ	C	D	D	D	D	B	B	C	B	C	D	E	E	E	E	E	E	D	B	C	B	D	C	E	C	E	E	D	C	B	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
		アセスメント・マップ																																																
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																																
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																																
評価形式																																																		
1	定期試験：筆記試験（記述式）	60																																																
2	定期試験：筆記試験（多肢選択式）	10																																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																																	
4	小テスト：筆記試験（多肢選択式）																																																	
5	口頭試験																																																	
6	レポート																																																	
7	成果発表																																																	
8	質問紙法																																																	
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																	
10	OSCE																																																	
11	監査（オーディット）																																																	
12	ポートフォリオ																																																	
13	自己評価																																																	
14	その他 スケッチブック 評点との総合判定とする	30	c	c	c	c	c	b	a	a	a	a																																						
	合計（100%）	100																																																
	目標とする平均点	70点																																																
	再試験の回数	1回																																																
	授業形態	対面授業科目																																																

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
細胞・器管生理学	4	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	50
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	50
		3 小テスト(筆記試験(記述式))	
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法(模型または実際の患者)	
		10 OSCE	
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計(100%)	100		
目標とする平均点	70点		
再試験の回数	2回		
授業形態	対面授業科目		

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
D	E	D	D	E	E	C	B	B	D	E	E	D	E	E	E	E	E	B	B	B	B	D	E	E	E	E	E	E	E	B	B	B	B	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E						
アセスメント・マップ																																																					
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																																					
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																																					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
						a	a	a																c	c	c	c																										

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーションドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科 目 名	単 位 数	学修成果と評価方法
神経生理学	2.5	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
神経生理学	2.5	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
アセスメント・マップ																																									
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																							
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35						
1	定期試験：筆記試験（記述式）	10																																							
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）	90																																							
3	小テスト：筆記試験（記述式）																																								
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																								
5	口頭試験																																								
6	レポート																																								
7	成果発表																																								
8	質問紙法																																								
9	直接観察法（観察法は実際の患者）																																								
10	OSCE																																								
11	監査（オーディット）																																								
12	ポートフォリオ																																								
13	自己評価																																								
14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																								
	合計（100%）	100																																							
	目標とする平均点		70点																																						
	再試験の回数		1回																																						
	授業形態		対面授業科目																																						

カリキュラム・マップ 区分
高度 Advanced S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
C 医学生として基礎となる能力を修得している
D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
E 経験・修得する機会がない

科目名 単位数 学修成果と評価方法

分子生物学2 1 カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ
① 評価形式ごとの評価割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式） 50
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式） 50
3 小テスト：筆記試験（記述式）
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）
5 口頭試験
6 レポート
7 成果発表
8 質問紙法
9 直接観察法（模型または実際の患者）
10 OSCE
11 監査（オーデिट）
12 ポートフォリオ
13 自己評価
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載
合計（100%） 100
目標とする平均点 80点
再試験の回数 1回
授業形態 対面授業科目

Main table with 50 columns (I-VII) and 50 rows (1-50). Contains detailed assessment criteria and scores across various competency categories like Professionalism, Medical Knowledge, Clinical Practice, Problem Solving, Communication, Scientific Inquiry, Regional Medicine, and International Contribution.

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分		凡例
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである	
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる	
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している	
	C 医学生として基礎となる能力を修得している	
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない	
	E 経験・修得する機会がない	

科目名	単位数	学修成果と評価方法
生理学実習	0.5	カリキュラム・マップ

評価形式	評価形式ごとの評価割合 (%)	②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																								
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																										
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）																										
3 小テスト：筆記試験（記述式）																										
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																										
5 口頭試験																										
6 レポート	90																									
7 成果発表																										
8 質問紙法																										
9 直接観察法（模型または実際の患者）																										
10 OSCE																										
11 監査（オーディット）																										
12 ポートフォリオ																										
13 自己評価																										
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																									
合計（100%）	100																									
目標とする平均点	75点																									
再試験の回数	〇回																									
授業形態	対面授業科目																									

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																																																																			
Ⅰ. プロフェッショナリズム						Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					Ⅳ. 問題対応能力				Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求			Ⅶ. 地域医療				Ⅷ. 国際貢献																																																			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																											
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	6	災害時の医療について説明できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の推進に努めることができる。	3	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	医療に関するコミュニケーションの重要性を理解し、常に他者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮し接することができる。	5	医療現場でのコミュニケーションの重要性を理解し、常に他者に配慮し接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する理解を説明できる。	5	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	5	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	医療活動に活用できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践				IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し思いやりのある態度を身に付けることができる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	2病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	1抽出できる医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明できる能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	4他人の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の考えを尊重して接することができる。	5先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を理解し、説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の動向に関する知識を説明し、説明する基礎的知識を身に付けている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、チューラメントドクターとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学士として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

病理学2	2.5	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	D	D	C	B	B	B	B	B	E	E	D	E	E	E	C	C	B	B	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	C	E	D	D
------	-----	------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)	評価項目																																								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26															
1 定期試験：筆記試験（記述式）	20										a	a	a	a	a																											
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	50										a	a	a	a	a																											
3 小テスト：筆記試験（記述式）	5										a	a	a	a	a																											
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																										
5 口頭試験																																										
6 レポート	15										a	a	a	a	a																											
7 成果発表																																										
8 質問紙法																																										
9 直接観察法（模型または実際の患者）																																										
10 OSCE																																										
11 監査（オーディット）																																										
12 ポートフォリオ																																										
13 自己評価																																										
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																									
合計 (100%)	100																																									

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求			VII. 地域医療				VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害及を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の推進に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人のニーズを把握して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な視点に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 感染症、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
感染・微生物学	5	カリキュラム・マップ
	アセスメント・マップ	
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
	評価形式	
	1 定期試験(筆記試験(記述式))	40
	2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	42
	3 小テスト(筆記試験(記述式))	
	4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	5
	5 口頭試験	
	6 レポート	8
	7 成果発表	
	8 質問紙法	
	9 直接観察法(模型または実際の患者)	
10 OSCE		
11 監査(オーディット)		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)	5 受講態度	
合計(100%)	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
基礎腫瘍学	1	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式） 20
	2	定期試験：筆記試験（多岐選択式） 60
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート 20
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載
		合計（100%） 100
		目標とする平均点 75点
		再試験の回数 1回
		授業形態 対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい願及及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析することができる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決を説明できる。	ある解決と説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の観を重視して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療の発展に貢献できる。	3 医療・保健に関わる国際協力に貢献できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・データとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
医学概論・医療総論3	0.5	カリキュラム・マップ アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	30	c c c c c
7 成果発表	20	
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）	40	b a
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他（事前提出課題、実習記録）	10	c
合計（100%）	100	

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	1 出でる	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人数の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への配慮を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フロイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎となる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。			
c	c	c	c	c	c	B	D	D	D	D	C	D	D	E	E	D	E	D	C	C	D	C	B	C	C	C	E	E	E	E	E	C	D	D	B	C	E	D	E	D	E			

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして権限的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

地域医療 合同セミナー③	1	カリキュラム・マップ
-----------------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に善く接し、患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析して対応できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学の発展に新機軸が生まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際的な医療の発展に貢献することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基盤的能力を身に付けていく。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)	I-VIII																																						
		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII							
1 定期試験(筆記試験(記述式))																																								
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))																																								
3 小テスト(筆記試験(記述式))	5																																							
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	5																																							
5 口頭試験																																								
6 レポート	40	c	c	c	c	c	c	c	c																															
7 成果発表	30																																							
8 質問紙法																																								
9 直接観察法(模型または実際の患者)	10																																							
10 OSCE																																								
11 監査(オーディット)																																								
12 ポートフォリオ																																								
13 自己評価	10																																							
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																								
合計(100%)	100																																							

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
医療行動科学2	カリキュラム・マップ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B						
	アセスメント・マップ	① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																															
	1 定期試験(筆記試験(記述式))																																																
	2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))																																																
	3 小テスト(筆記試験(記述式))																																																
	4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))																																																
	5 口頭試験																																																
	6 レポート	100	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a							
	7 成果発表																																																
	8 質問紙法																																																
	9 直接観察法(模型または実際の患者)																																																
	10 OSCE																																																
	11 監査(オーディット)																																																
	12 ポートフォリオ																																																
	13 自己評価																																																
	14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計(100%)	100																																															

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療統計学1	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）	25	b a
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	75	a
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

目標とする平均点	75点
再試験の回数	0回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																																					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																				
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることと説明できる。	患者及びその家族と対話を重ねることができ。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を新規性を含められていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際交流に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。

医療統計学1	1	カリキュラム・マップ	D	D	D	D	C	D	C	C	D	C	C	E	E	E	D	D	D	D	C	C	D	E	E	E	E	E	C	D	D	C	D	D	D	E	E	E	E	D	D	D	C	D
--------	---	------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドスケープとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
遺伝医学	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5									
2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5											
4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5												
5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5													
6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5														
7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40											
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40												
9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40													
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40														
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40															
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																	
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																		
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																			
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																				
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																					
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																						
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																							
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																								
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																									
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																										
23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																											
24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																												
25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																													
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																														
27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																															
28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																
29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																	
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																		
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																																			
32	33	34	35	36	37	38	39	40																																				
33	34	35	36	37	38	39	40																																					
34	35	36	37	38	39	40																																						
35	36	37	38	39	40																																							
36	37	38	39	40																																								
37	38	39	40																																									
38	39	40																																										
39	40																																											
40																																												

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）	80	a	a		a		a		b	b				
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）														
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート	10		b		c		c	c	c	c				
7 成果発表	10		c		a	a		a						
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載														
合計 (100%)	100													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験したうえで、シミュレーション・ラボとして積極的に関与し、行動できる
基礎 Basic	B 医学学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学学生として基礎となる能力を修得している
	D 最終・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 最終・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

病理学実習	2	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

		I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識	III. 医療の実践	IV. 問題対応能力	V. コミュニケーション	VI. 科学的探求	VII. 地域医療	VIII. 国際貢献																															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																				
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用でき	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入時の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 解明の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ	4 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 根拠に基づいた医療技術を用いた状況に即して正しく実践できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人数を揃え、社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身に付けている。	4 医学的知識を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれらに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フロイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実現できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮する必要性を説明し、価値観の多様性を尊重する。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な問題を説明できる。

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
1 定期試験：筆記試験 (記述式)							a	a	a	a	b		a	c			b	b	b	b	b																		
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)							a	a	a	a	b		a	c			b	b	b	b	b																		
3 小テスト：筆記試験 (記述式)							a	a	a	a	b		a	c			b	b	b	b	b																		
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)							a	a	a	a	b		a	c			b	b	b	b	b																		
5 口頭試験																																							
6 レポート							a	a	a	a	b		a	c			a	a	a	a																			
7 成果発表																																							
8 質問紙法																																							
9 直接観察法 (模型または実際の患者)																																							
10 OSCE																																							
11 監査 (オーディット)																																							
12 ポートフォリオ																																							
13 自己評価																																							
14 その他 実習態度、コミュニケーション、身なり等を観察評価																																							
合計 (100%)																																							

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューレントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
臨床医学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		評価形式
		1 定期試験：筆記試験（記述式）
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）
		3 小テスト：筆記試験（記述式）
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）
		5 口頭試験
		6 レポート
		7 成果発表
		8 質問紙法
		9 直接観察法（模型または実際の患者）
		10 OSCE
		11 監査（オーディット）
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点	80点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

No.	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
1	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c					
<p>② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)</p>																																														
1																	a	a	a	a	a																									
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
6																																														
7																																														
8																																														
9																																														
10																																														
11																																														
12																																														
13																																														
14																																														
合計（100%）																																														
目標とする平均点	80点																																													
再試験の回数	1回																																													
授業形態	対面授業科目																																													

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

内分泌学

1.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	評価割合 (%)	コンピテンス・コンピテンシー																												
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
1 定期試験：筆記試験（記述式）																														
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	100								a	a	a	a	a	b	b	b														
3 小テスト：筆記試験（記述式）																														
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）																														
5 口頭試験																														
6 レポート																														
7 成果発表																														
8 質問紙法																														
9 直接観察法（模型または実際の患者）																														
10 OSCE																														
11 監査（オーディット）																														
12 ポートフォリオ																														
13 自己評価																														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																														
合計（100%）	100																													

目標とする平均点

70点

再試験の回数

1回

授業形態

対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューラントワークとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

血液病学	1	カリキュラム・マップ
------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	100														
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	問題解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を導くための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	地域医療の中で国際化に配慮する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	
c	c	b	b	c	c	b	b	b	b	b	c	c	c	c	d	d	e	c	c	c	d	d	e	e	e	c	c	e	d	d	e	c						

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドスケープとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

免疫・アレルギー疾患	1	カリキュラム・マップ
------------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識し、行動できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	問題解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を導くための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	100														
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践				IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探究				VII. 地域医療					VIII. 国際貢献						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えている。医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、病解明に活用できる。	4 疾病の病態・病機・治療につなげる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5 医療安全、感染症対策を実践できる。	6 災害時の医療について説明できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決を説明する能力を高めるために、生涯学習が重要である。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一端として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	3 医療者に求められることとして多職種連携の基礎を実践できる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 自己の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の価値観を尊重して接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3 国際的な医療に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	4 国際的な医療に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

呼吸器病学 1.5

カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	定期試験：筆記試験 (記述式)																																					
2	定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	90					a	a	a	a																													
3	小テスト：筆記試験 (記述式)																																						
4	小テスト：筆記試験 (多肢選択式)																																						
5	口頭試験																																						
6	レポート																																						
7	成果発表																																						
8	質問紙法																																						
9	直接観察法 (模擬または実際の患者)																																						
10	OSCE																																						
11	監査 (オーディット)																																						
12	ポートフォリオ																																						
13	自己評価																																						
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10																																					
合計 (100%)		100																																					

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューラントワークとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医・泌尿器科学	2	カリキュラム・マップ
---------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)		90													
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															10
合計 (100%)															100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入時の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の説明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	根拠に基づいた医療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮が持てることのできる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知識を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に配慮できる。	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	国際社会における医学的な問題を説明できる。	疫学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	国際社会における医学的な問題を説明できる。					
D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E

目標とする平均点	75点
再試験の回数	2回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に即して正しく実践できる。	1 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3 指導力及び協調性をもって、診療や保健指導の基礎を実践できる。	4 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5 人数の膨らみや社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への敬意を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。		

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューラントデータとして規範的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
E 経験・修得する機会がない	

科目名	単位数	学修成果と評価方法
神経内科学	1	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	95													
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5													
合計 (100%)	100													

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドテーブルとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

循環器病学 2.5

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

I. プロフェッショナリズム	II. 医学知識						III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献									
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に活用できる。	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
D	D	D	D	D	D	D	B	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	

②評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)

① 評価形式ごとの評価割合 (%)			② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)																																			
評価形式	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		
1 定期試験: 筆記試験 (記述式)																																						
2 定期試験: 筆記試験 (多肢選択式)	100						a	a	a	a	a	a	b	b	b				c	c	c	c	c															
3 小テスト: 筆記試験 (記述式)																																						
4 小テスト: 筆記試験 (多肢選択式)																																						
5 口頭試験																																						
6 レポート																																						
7 成果発表																																						
8 質問紙法																																						
9 直接観察法 (模型または実際の患者)																																						
10 OSCE																																						
11 監査 (オーディット)																																						
12 ポートフォリオ																																						
13 自己評価																																						
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																						
合計 (100%)	100																																					

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンス・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

ゲノム腫瘍学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式	1	定期試験：筆記試験（記述式）
	2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）
	3	小テスト：筆記試験（記述式）
	4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）
	5	口頭試験
	6	レポート
	7	成果発表
	8	質問紙法
	9	直接観察法（模型または実際の患者）
	10	OSCE
	11	監査（オーディット）
	12	ポートフォリオ
	13	自己評価
	14	その他（受講態度等）
		合計（100%）

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
B	B	B	B	E	B	C	C	C	C	C	D	E	E	B	D	E	E	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E					
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																									
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																									
90	a	a	a	a		a	a	a	a	a					a																										
10																																									
100																																									

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・ランドスケープとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

放射線医学	1	カリキュラム・マップ
-------	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5
1 定期試験：筆記試験（記述式）					5
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	a				90
3 小テスト：筆記試験（記述式）					
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）					
5 口頭試験					
6 レポート					
7 成果発表					
8 質問紙法					
9 直接観察法（模型または実際の患者）					
10 OSCE					
11 監査（オーディット）					
12 ポートフォリオ					
13 自己評価					
14 その他（授業態度、発表内容等）	a				5
合計（100%）					100

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入時の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮を払って接することができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知識を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フロイマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立つて実践する基礎となる知識を身に付けている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学・疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
c	e	e	d	e	d	b	b	d	b	d	d	d	b	b	d	e	d	d	b	d	d	d	e	d	d	d	d	d	d	b	d	e	e	d	e	e	e	d	e	e			

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を体験シミュレーション・シナリオとして横断的に関与し、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

小児科学 2 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)		100													
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)		100													

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医学倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識し行動できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看入間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	5 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	5 問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要である。	4 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	3 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができる。	2 指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	1 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	5 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	4 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	2 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に精通している。	1 個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	5 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 フライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	2 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	1 地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重している。	5 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	2 国際社会における医学的課題を説明できる。	1 国際社会における医学的課題を説明できる。
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	D	D	D	D	D	E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験 シミュレーションソフト ターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

外科・外科腫瘍学総論	1.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	100	c	c	c	c	c	a	a	a	a	a	b	c	c	b
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5							
6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
8	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
9	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
10	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
11	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
12	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
13	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
14	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
15	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

目標とする平均点	75点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・データとして規範的に関与し、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

脳神経外科学	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根底にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	解明に活用できる。	生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	医療安全、感染症対策を実践でき。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	問題解決に向けた情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	治療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の健康や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への配慮を払って接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的知見を導くための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域医療の発展に貢献するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	2 健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学・公衆衛生の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。						

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)															
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)		95													
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
合計 (100%)		100													

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験した上で、シミュレーション・ラボ・ドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法

整形外科学 1 カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	割合 (%)
1 定期試験：筆記試験（記述式）	95
2 定期試験：筆記試験（多肢選択式）	
3 小テスト：筆記試験（記述式）	
4 小テスト：筆記試験（多肢選択式）	
5 口頭試験	
6 レポート	
7 成果発表	
8 質問紙法	
9 直接観察法（模型または実際の患者）	
10 OSCE	
11 監査（オーディット）	
12 ポートフォリオ	
13 自己評価	
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	5 出席状況、授業態度
合計 (100%)	100

I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献														
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c					
カリキュラム・マップ					アセスメント・マップ					① 評価形式ごとの評価割合 (%)					② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																		
					a	a	a	a												a	a																												
					b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b	b					

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、シミュレーション・シナリオとして模擬的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 修得・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 修得・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

スポーツ医学	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

		アセスメント・マップ
--	--	------------

		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
--	--	-------------------

		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
--	--	---

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)			c		b		a	a	a						20
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)			c		c		a	a	a						60
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)							a	a	a						5
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			a		a		b	b	b						15 (受講態度等)
合計 (100%)															100

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

1	2	3	4	5	6	Ⅰ. プロフェッショナリズム					Ⅱ. 医学知識					Ⅲ. 医療の実践					Ⅳ. 問題対応能力					Ⅴ. コミュニケーション					Ⅵ. 科学的探求					Ⅶ. 地域医療					Ⅷ. 国際貢献				
						1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
E	E	E	C	E	C	E	C	C	C	C	D	E	E	C	C	E	C	C	D	E	E	C	C	E	E	E	E	C	E	E	E	E	E	D	C	E	E	E							

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

口腔外科学	0.5	カリキュラム・マップ	C	D	E	D	D	C	C	B	B	B	C	D	D	C	D	D	E	D	C	C	C	C	C	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E						
		アセスメント・マップ																																							
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																							
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																							
		評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計(100%)																								
		1	定期試験；筆記試験（記述式）	30																																					
		2	定期試験；筆記試験（多岐選択式）	60																																					
		3	小テスト；筆記試験（記述式）																																						
		4	小テスト；筆記試験（多岐選択式）																																						
		5	口頭試験																																						
		6	レポート																																						
		7	成果発表																																						
		8	質問紙法																																						
		9	直接観察法（模型または実際の患者）																																						
10	OSCE																																								
11	監査（オーディット）																																								
12	ポートフォリオ																																								
13	自己評価																																								
14	その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載→出席状況、授業態度	10																																							
合計(100%)		100																																							

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション																																								
I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献					
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の人体に説明に活用できる。	疾病の病態・病機・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4規範に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、相手を安心させることができる。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に対する敬意と協力を示すことができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5地域医療における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基盤的能力を身につけている。	3国際貢献に積極的に参加し、国際的な役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験 シミュレーションソフト ターとして模擬的に関与、 行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を 開始するための能力を修得 している
	C 医学生として基礎となる 能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、 単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

衛生学	1	カリキュラム・マップ
-----	---	------------

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験：筆記試験 (記述式)	50														
2 定期試験：筆記試験 (多肢選択式)	40														
3 小テスト：筆記試験 (記述式)															
4 小テスト：筆記試験 (多肢選択式)															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査 (オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他 (授業内リフレクションシート)	10														
合計 (100%)	100														

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																									
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職業を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	看人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けている。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	解明に正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の理解に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4	根拠に基づいた医療技術を用いた状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	1	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4	指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	5	人々の意を払って接することができる。	1	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	個々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれらに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置づけについて説明できる。	3	地域社会における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	4	地域医療の中で国際化に際する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	5	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	健康増進及び疾病予防の活動に国際的視野に立つて実践する基礎的知識を身につけている。	2	疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	3	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	5	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
c	b	c	b	A	C	B	B	D	C	B	E	D	D	C	B	E	C	B	B	B	C	E	E	E	E	E	B	B	B	B	D	B	C	C	E	C	B	A	B	A	B																																								

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
公衆衛生学	3	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
		1 定期試験：筆記試験（記述式）
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）
		3 小テスト：筆記試験（記述式）
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）
		5 口頭試験
		6 レポート
		7 成果発表
		8 質問紙法
		9 直接観察法（模型または実際の患者）
		10 OSCE
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5															
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5 問題解決を説明できる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な医療の役割を説明し、協調して医療を実践できる。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
社会医学実習	1	カリキュラム・マップ

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献				
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6				
カリキュラム・マップ	1	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B				
アセスメント・マップ																																									
① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																									
② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																									
評価形式	1																																								
	2																																								
	3																																								
	4																																								
	5																																								
	6																																								
	7	70	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a				
	8	20	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a				
	9																																								
	10																																								
	11																																								
	12																																								
	13																																								
	14	10	a																																						
	その他 (態度・積極性)																																								
	合計 (100%)	100																																							

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医学概論・医療総論4	0.5	カリキュラム・マップ
------------	-----	------------

		I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識						III. 医療の実践						IV. 問題対応能力						V. コミュニケーション						VI. 科学的探求						VII. 地域医療						VIII. 国際貢献					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
		1 医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	2 法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3 生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4 人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5 医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6 人に害及し、患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3 人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に活用できる。	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	6 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3 臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	4 医療安全、感染症対策を実践できる。	5 災害時の医療について説明できる。	6 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	3 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	4 問題解決を説明できる。	5 問題解決と説明を高めるために、生涯学習が重要であることを認識し、学習の機会を積極的に求めることができる。	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、患者のニーズを把握し、適切な対応ができる。	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5 患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への理解と尊重を心がけることができる。	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1 国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2 国際的な視点に立つて実践する基礎的な能力を身につけている。	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる。					
		B	B	B	B	B	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D						
		アセスメント・マップ																																															
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)																																															
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)																																															
評価形式																																																	
1	定期試験：筆記試験（記述式）	70	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																															
2	定期試験：筆記試験（多岐選択式）																																																
3	小テスト：筆記試験（記述式）	30	a	a	a	a	a						a	a	a	a	a	a																															
4	小テスト：筆記試験（多岐選択式）																																																
5	口頭試験																																																
6	レポート																																																
7	成果発表																																																
8	質問紙法																																																
9	直接観察法（模型または実際の患者）																																																
10	OSCE																																																
11	監査（オーディット）																																																
12	ポートフォリオ																																																
13	自己評価																																																
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																
	合計（100%）	100																																															
	目標とする平均点		70点																																														
	再試験の回数		0回																																														
	授業形態		対面授業科目																																														

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

凡例	カリキュラム・マップ 区分					札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー																																											
	高度 Advanced	応用 Applied	基礎 Basic	その他	レベル	I. プロフェッショナリズム						II. 医学知識					III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション					VI. 科学的探求			VII. 地域医療				VIII. 国際貢献												
	S	A	B	C	1	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
	A				2	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	B				3	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
	C				4	4	5	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
	D				5	5	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
	E				6	6	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
							1	2																																									

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、チューレントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

応用医療情報科学	1	カリキュラム・マップ
アセスメント・マップ		
① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	100	a a a a a a a a a a a a
3 テスト：筆記試験（記述式）		
4 テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート		
7 成果発表		
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		75点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探求		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																										
1 医療倫理に関する	2 法的規範の根拠	3 できる	4 人の命及び健康を守る	5 医師の法的責任及び各種規範	6 災害時の医療について	1 医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる	2 基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる	3 人体の正常構造や機能、人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に	4 疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる	5 医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる	1 病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる	2 病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる	3 臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる	4 根拠に基づいた医療技術や技術を個々の状況に応じて正しく実践できる	5 医療安全、感染症対策を実践できる	6 災害時の医療について説明できる	1 医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる	2 問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる	3 最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる	4 問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる	5 問題解決及び課題を説明できる	1 礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる	2 信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	3 医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる	4 指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる	5 人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に対する敬意を持って接することができる	1 先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる	2 医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している	3 科学的思考に基づいた探究心を身につけている	4 医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する説明ができる	5 周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる	1 地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる	2 社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる	3 プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる	4 地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる	5 地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる	2 国際的な視点に立つて実践する基礎的能力を身につけている	3 医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる	4 疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる	5 国際社会における医学的な諸問題を説明できる

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
地域医療合同 セミナー4	0.5	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
評価形式		
1 定期試験：筆記試験（記述式）		
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）		
3 小テスト：筆記試験（記述式）		
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）		
5 口頭試験		
6 レポート	20	a
7 成果発表	50	a
8 質問紙法		
9 直接観察法（模型または実際の患者）		
10 OSCE		
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価	30	a
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点		90点
再試験の回数		1回
授業形態		対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践			IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション					VI. 科学的探求			VII. 地域医療				VIII. 国際貢献														
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ、	4問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析して対応できる。	5問題を解決するための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し導き及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の価値観を尊重して接することができる。	5指導力及び協調性をもち、診療や保健指導の基礎を実践できる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の動向に関する知識を説明できる。	3国際的な医療の動向に関する知識を説明できる。	4国際的な医療の動向に関する知識を説明できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。						
c	d	d	d	d	c	e	e	e	e	c	d	d	d	e	d	d	d	d	d	d	e	e	e	e	e	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d					

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修終了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学士として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学士として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療統計学2	1	カリキュラム・マップ
	アセスメント・マップ	
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
	評価形式	
	1 定期試験：筆記試験（記述式）	
	2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	
	4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	30
	5 口頭試験	
	6 レポート	70
	7 成果発表	
	8 質問紙法	
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	
	10 OSCE	
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載		
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	0回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践						IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に害及を及ぼさない振る舞いをする。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要である。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を傾聴して接することができる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学的知見を新機軸に含められていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	国際的な医療の発展に貢献する役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。
D	D	D	D	B	D	C	C	D	C	C	E	E	E	D	D	D	D	B	B	D	E	E	E	E	E	C	C	C	C	D	D	D	E	E	E	D	D	D	D	C	D

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分

高度 Advanced	S	初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A	診療参加型実習を経験し、チュードントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B	医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C	医学生として基礎となる能力を修得している
	D	経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E	経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
精神医学	2	カリキュラム・マップ

アセスメント・マップ		① 評価形式ごとの評価割合 (%)		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
評価形式					
1	定期試験:筆記試験(記述式)				
2	定期試験:筆記試験(多岐選択式)	100	a	c	a a a a a a c a a
3	小テスト:筆記試験(記述式)				
4	小テスト:筆記試験(多岐選択式)				
5	口頭試験				
6	レポート				
7	成果発表				
8	質問紙法				
9	直接観察法(模型または実際の患者)				
10	OSCE				
11	監査(オーディット)				
12	ポートフォリオ				
13	自己評価				
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載				
合計(100%)		100			
目標とする平均点		70点			
再試験の回数		1回			
授業形態		対面授業科目			

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識		III. 医療の実践		IV. 問題対応能力		V. コミュニケーション		VI. 科学的探究		VII. 地域医療		VIII. 国際貢献																												
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																											
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に応用できる	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる	医師の法的責任及び各種規範について説明できる	人に与えてい難い患者の立場を尊重し思いやりのある態度を身に付けることができる	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に活用できる	疾病の病態・病機・治療につながる医学的な要素を説明できる	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる	医療安全、感染症対策を実践できる	災害時の医療について説明できる	問題を解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる	最新の情報を探求し、問題解決に向けた構想を示すことができる	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる	問題解決を説明できる	ある解決及び課題を高めるために、生涯学習が重要であることを認識し、自ら学ぶ姿勢を醸成し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる	医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる	人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に配慮を払って接することができる	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している	科学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる	科学的思考に基づいた探究心を身につけている	医学的知見を説明するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる	プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる	1 国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる	2 国際会議に参加し、国際的なネットワークを構築する	3 国際会議に参加し、国際的なネットワークを構築する	4 国際会議に参加し、国際的なネットワークを構築する	5 国際会議に参加し、国際的なネットワークを構築する
A	B	B	A	B	C	C	B	B	B	B	A	B	B	E	E	E	B	B	A	E	B	B	S	S	S	A	A	A	A	A	E	A	A	E	E	E	E	B	E	B	E	A

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

医療薬学	1	カリキュラム・マップ
		アセスメント・マップ
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)
評価形式		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)
1	定期試験(筆記試験(記述式))	20
2	定期試験(筆記試験(多岐選択式))	70
3	小テスト(筆記試験(記述式))	
4	小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
5	口頭試験	
6	レポート	
7	成果発表	
8	質問紙法	
9	直接観察法(模型または実際の患者)	
10	OSCE	
11	監査(オーディット)	
12	ポートフォリオ	
13	自己評価	
14	その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10
	合計(100%)	100
	目標とする平均点	75点
	再試験の回数	1回
	授業形態	対面授業科目

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																											
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																			
1	医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的状況に適用できる。	2	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	3	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	4	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	5	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	6	人間の尊厳及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けていく。	1	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	2	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2	臨床情報と整理して臨床推論を行い、診断することができる。	3	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5	医療安全、感染症対策を実践できる。	1	災害時の医療について説明できる。	2	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5	問題解決及び課題解決能力を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3	指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4	患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2	科学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5	周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5	地域医療の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5	国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	1	国際貢献に関心を持ち、国際協力の役割を説明できる。	2	国際貢献に関心を持ち、国際協力の役割を説明できる。	3	国際貢献に関心を持ち、国際協力の役割を説明できる。	4	国際貢献に関心を持ち、国際協力の役割を説明できる。	5	国際貢献に関心を持ち、国際協力の役割を説明できる。
c	c	d	d	e	c	c	c	c	c	c	d	d	d	d	d	c	d	d	d	d	c	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d																																																			

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 試験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 試験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

リハビリテーション医学	1	カリキュラム・マップ
-------------	---	------------

		I. プロフェッショナリズム					II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																																																																																																																																																																																																																																										
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5																																																																																																																																																																																																																																											
		1 医療倫理	2 法的規範	3 生及死	4 人の命	5 医師の法的責任	1 医学の基礎	2 基礎医学	3 人体の正常構造	4 疾病の病因	5 医学の進歩	1 病歴	2 病歴	3 臨床情報	4 診断	5 医療安全	1 災害時	2 問題の解決	3 最新の情報	4 問題解決	5 問題解決	1 礼儀	2 信頼関係	3 医療チーム	4 指導力	5 患者の信頼	1 先駆的	2 医学研究	3 科学的	4 医学的	5 周々の症例	1 地域社会	2 社会経済	3 プライマリ	4 地域医療	5 国際交流	1 国際社会	2 疫学	3 医療	4 医療活動	5 国際社会																																																																																																																																																																																																																																						
		c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c																																																																																																																																																																																																																																											
リハビリテーション医学		<p>アセスメント・マップ</p> <p>① 評価形式ごとの評価割合 (%)</p> <p>② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)</p> <table border="1"> <tr> <th>評価形式</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>13</th><th>14</th> <th>合計 (100%)</th> </tr> <tr> <td>1 定期試験：筆記試験 (記述式)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 定期試験：筆記試験 (多岐選択式)</td> <td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>a</td><td>a</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>3 小テスト：筆記試験 (記述式)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 小テスト：筆記試験 (多岐選択式)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 口頭試験</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 レポート</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 成果発表</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 質問紙法</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 直接観察法 (模型または実際の患者)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 OSCE</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 監査 (オーディット)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 ポートフォリオ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 自己評価</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> </tr> </table>																														評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)	1 定期試験：筆記試験 (記述式)																2 定期試験：筆記試験 (多岐選択式)	100						a	a							100	3 小テスト：筆記試験 (記述式)																4 小テスト：筆記試験 (多岐選択式)																5 口頭試験																6 レポート																7 成果発表																8 質問紙法																9 直接観察法 (模型または実際の患者)																10 OSCE																11 監査 (オーディット)																12 ポートフォリオ																13 自己評価																14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載															
評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)																																																																																																																																																																																																																																																																
1 定期試験：筆記試験 (記述式)																																																																																																																																																																																																																																																																															
2 定期試験：筆記試験 (多岐選択式)	100						a	a							100																																																																																																																																																																																																																																																																
3 小テスト：筆記試験 (記述式)																																																																																																																																																																																																																																																																															
4 小テスト：筆記試験 (多岐選択式)																																																																																																																																																																																																																																																																															
5 口頭試験																																																																																																																																																																																																																																																																															
6 レポート																																																																																																																																																																																																																																																																															
7 成果発表																																																																																																																																																																																																																																																																															
8 質問紙法																																																																																																																																																																																																																																																																															
9 直接観察法 (模型または実際の患者)																																																																																																																																																																																																																																																																															
10 OSCE																																																																																																																																																																																																																																																																															
11 監査 (オーディット)																																																																																																																																																																																																																																																																															
12 ポートフォリオ																																																																																																																																																																																																																																																																															
13 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																															
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載																																																																																																																																																																																																																																																																															
		目標とする平均点		80点																																																																																																																																																																																																																																																																											
		再試験の回数		1回																																																																																																																																																																																																																																																																											
		授業形態		対面授業科目																																																																																																																																																																																																																																																																											

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

総合老年医学	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5						
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4病歴に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を尊重して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な医療の動向を把握し、国際的視野に立って実践する基礎的知識を身に付けていく。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%) ② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計 (100%)
1 定期試験(筆記試験(記述式))															
2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	95					a	a	a	a	a					
3 小テスト(筆記試験(記述式))															
4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))															
5 口頭試験															
6 レポート															
7 成果発表															
8 質問紙法															
9 直接観察法(模写または実際の患者)															
10 OSCE															
11 監査(オーディット)															
12 ポートフォリオ															
13 自己評価															
14 その他(評価形式が「その他」の場合、内容を記載)	5														
合計 (100%)	100														

目標とする平均点	80点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スケジュールドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

凡例			
科目名	単位数	学修成果と評価方法	
麻酔・集中治療医学	2	カリキュラム・マップ	A A A A A A A A A A A A A A B B B B B S S S S S A A A A A S S A A A A A A A
		アセスメント・マップ	
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)		
	② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)		
	評価形式		
	1 定期試験(筆記試験(記述式))		
	2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	90	a b c
	3 小テスト(筆記試験(記述式))		
	4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))		
	5 口頭試験		
	6 レポート		
	7 成果発表		
	8 質問紙法		
	9 直接観察法(模型または実際の患者)		
10 OSCE			
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他評価形式が「その他」の場合、内容を記載	10	C	
合計(100%)	100		
目標とする平均点		75点	
再試験の回数		1回	
授業形態		対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に際する倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えていける。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に説明して活用できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的な要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4病歴に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1抽出できる。	2医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を醸成し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進に努めることのできる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者への配慮を払って接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に基づいて説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

Table with 8 columns (I-VIII) and 10 rows (1-10) detailing competencies across various medical fields like Professionalism, Medical Knowledge, Clinical Practice, etc.

カリキュラム・マップ 区分 (Curriculum Map Division) table with 5 rows (S-E) and 2 columns (高度/応用, 基礎) and descriptions of learning objectives.

Table with 2 columns (科目名, 単位数) and 1 row (形成外科学, 1) containing 'カリキュラム・マップ' and 'アセスメント・マップ'.

Large table for assessment results with 14 rows of evaluation forms and 10 columns of competency items, including a '合計 (100%)' row.

Summary table with 2 columns (項目, 数) containing '目標とする平均点 70点', '再試験の回数 1回', and '授業形態 対面授業科目'.

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして積極的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

救急災害医学	1	カリキュラム・マップ
--------	---	------------

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践				IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション				VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献																							
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6														
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に誇り、患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	4疾病の病態・病機・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	4病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	6災害時の医療について説明できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決及び課題を高めるために、生涯学習が重要であることを説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	3指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	4患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他者に敬意を払って接することができる。	5先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	1医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	2科学的探求を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を身につけている。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1国際交流に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	3地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	4地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	5地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	6地域医療の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	1国際貢献に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際貢献に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3国際貢献に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4国際貢献に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5国際貢献に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	6国際貢献に関心を持ち、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。

アセスメント・マップ

① 評価形式ごとの評価割合 (%)

② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)

評価形式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1 定期試験：筆記試験（記述式）														
2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	100	a	a	b		a	a	a	a	a	a			
3 小テスト：筆記試験（記述式）														
4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）														
5 口頭試験														
6 レポート														
7 成果発表														
8 質問紙法														
9 直接観察法（模型または実際の患者）														
10 OSCE														
11 監査（オーディット）														
12 ポートフォリオ														
13 自己評価														
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載				c										
合計（100%）	100													

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンズ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
皮膚科学	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めている項目)	
		評価形式	
		1 定期試験：筆記試験（記述式）	
		2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	95
		3 小テスト：筆記試験（記述式）	
		4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法（模写または実際の患者）	
10 OSCE			
11 監査（オーディット）			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載し出席状況を考慮し決定	5		
合計（100%）	100		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識				III. 医療の実践		IV. 問題対応能力				V. コミュニケーション					VI. 科学的探求				VII. 地域医療				VIII. 国際貢献															
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5										
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	4問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	5問題解決及び課題探求能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の構築に努めることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の立場を考慮して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	3国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	4国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	5国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。			
E	E	E	E	E	E	C	C	C	C	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E

目標とする平均点	70点
再試験の回数	1回
授業形態	対面授業科目

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンション

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法
-----	-----	-----------

総合講義 1	1	カリキュラム・マップ
	アセスメント・マップ	
	① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
	評価形式	
	1 定期試験：筆記試験（記述式）	
	2 定期試験：筆記試験（多岐選択式）	
	3 小テスト：筆記試験（記述式）	
	4 小テスト：筆記試験（多岐選択式）	50
	5 口頭試験	
	6 レポート	30
	7 成果発表	
	8 質問紙法	
	9 直接観察法（模型または実際の患者）	
	10 OSCE	
11 監査（オーディット）		
12 ポートフォリオ		
13 自己評価		
14 その他（GW等における態度評価：ルーブリック）	20	
合計（100%）	100	
目標とする平均点	75点	
再試験の回数	1回	
授業形態	対面授業科目	

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与える影響及び患者の立場を尊重した思いやりのある態度を身に付けることができる。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	3人体の正常構造や機能、人体の正常機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態に説明できる。	4疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	5医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	1病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	2病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	3臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができ。	4根拠に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	5医療安全、感染症対策を実践できる。	1医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	2問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	3最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	4問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	5問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	1礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	2信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ。	3医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の促進を図ることができる。	4指導力及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	5人々の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他人の意見を傾聴して接することができる。	1先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	2医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	3科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	4医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理に関する知識を説明できる。	5周々の症例に新規性が含まれていることを理解し説明できる。	1地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	2社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	3プライマリ・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	4地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践できる。	5地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	1国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	2国際的な視点に立って実践する基礎的能力を身につけている。	3医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	4疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	5国際社会における医学的な諸問題を説明できる。

札幌医科大学医学部医学科 コンピテンシ・コンピテンシー

カリキュラム・マップ 区分	
高度 Advanced	S 初期臨床研修修了のレベルである
応用 Applied	A 診療参加型実習を経験し、スチューデントドクターとして機能的に関与、行動できる
基礎 Basic	B 医学生として臨床実習を開始するための能力を修得している
	C 医学生として基礎となる能力を修得している
	D 経験・修得する機会はあるが、単位認定には関係していない
	E 経験・修得する機会がない

科目名	単位数	学修成果と評価方法	
総合講義2	1	カリキュラム・マップ	
		アセスメント・マップ	
		① 評価形式ごとの評価割合 (%)	
		② 評価形式毎の比重 (a:主な対象項目/b:副次的な対象項目/c:対象に含めていない項目)	
		評価形式	
		1 定期試験(筆記試験(記述式))	
		2 定期試験(筆記試験(多岐選択式))	50
		3 小テスト(筆記試験(記述式))	
		4 小テスト(筆記試験(多岐選択式))	
		5 口頭試験	
		6 レポート	
		7 成果発表	
		8 質問紙法	
		9 直接観察法(模型または実際の患者)	
10 OSCE	50		
11 監査(オーディット)			
12 ポートフォリオ			
13 自己評価			
14 その他 評価形式が「その他」の場合、内容を記載			
合計(100%)	100		
目標とする平均点	75点		
再試験の回数	1回		
授業形態	対面授業科目		

I. プロフェッショナリズム		II. 医学知識					III. 医療の実践					IV. 問題対応能力					V. コミュニケーション					VI. 科学的探求					VII. 地域医療					VIII. 国際貢献																
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5													
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5								
医療倫理及び生命倫理の原則を理解し、具体的な状況に適用できる。	法的規範の根拠にある倫理的考え方を説明できる。	生及び死に関わる倫理的な問題を多角的に認識した振る舞いができる。	人の命及び健康を守る医師の使命と職責を自覚し行動できる。	医師の法的責任及び各種規範について説明できる。	人に与えてい難い患者の立場を尊重し、思いやりのある態度を身に付けていく。	医学の基礎となる自然科学の幅広い知識を有し活用できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を有し活用できる。	人体の正常構造や機能、生命科学に関する基礎知識を疾患病態の解明に活用できる。	疾病の病因・病態・治療につながる医学的要素を説明できる。	医学の進歩と発展のために自己研鑽する重要性を説明できる。	病歴を正しく聴取し、身体診察を適切に行い、病状を判断できる。	臨床情報を整理して臨床推論を行い、診断することができる。	病歴及び身体所見から必要な検査を選択し、結果を評価できる。	臨床情報に基づいた医療技術を個々の状況に応じて正しく実践できる。	医療安全、感染症対策を実践できる。	災害時の医療について説明できる。	医学・医療において既存の知識や技能では対応できない問題を抽出できる。	問題の解決に向けて、関連する情報を収集して分析できる。	最新の情報を探索し、問題解決に向けた構想を示すことができる。	問題解決のための構想を科学的根拠に基づいて実行できる。	問題解決と説明能力を高めるために、生涯学習が重要であることと説明できる。	礼儀及び礼節を重んじ、相応しい身なりと振る舞いができる。	信頼関係を意識し、患者及びその家族と対話を重ねることができ、医療チームの一員として多職種連携を円滑に図り、相互理解の指し合い及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	患者の価値観や社会的背景が多様であることを理解し、常に他の指し合い及び協調性をもって診療や保健指導の基礎を実践できる。	先駆的な医学研究は社会全体の幸福につながることを説明できる。	医学研究を遂行する意欲と基礎的素養を有している。	科学的思考に基づいた探究心を身につけている。	医学的知見を獲得するための科学的な理論や方法論、研究倫理について説明できる。	医学的知見を新規範に含められていることを理解し説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	社会経済における地域医療の位置付けについて説明できる。	地域社会の健康の向上及び増進の重要性とそれに向けて果たすべき役割を説明できる。	国際交流に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。	医療・保健に関わる国際協力の役割を説明できる。	健康増進及び疾病予防の活動を国際的視野に立って実践する基礎的能力を身につけている。	国際交流に関心を示し、多様な文化を理解することの重要性を説明できる。	地域医療の中で国際化に関する課題を説明し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮できる。	地域における医療専門職の役割を理解し、協調して医療を実践することができる。	ブライマリー・ケアを実践するための基礎的な知識及び技能を示すことができる。	国際社会における医学的な諸問題を説明できる。	疫学、疾病予防、福祉、医療経済等の社会医学の知識を国際医療活動に活用できる。